

令和4年3月 鴻巣市議会定例会代表質問

質問順位1 鴻創会 加藤 英樹

- 1 施政方針
 - (1) 市政の新たな方向性
 - (2) 重点事業・主要事業について
 - ア 新ごみ処理施設整備推進
 - イ 笠原小学校跡地利活用
 - ウ 小・中学校適正規模及び適正配置
 - エ 救急医療体制の整備

- 2 令和4年度予算(案)の大綱
 - (1) 財政状況と今後の見通し
 - ア 一般会計の歳入について
 - イ 今後の財政見通しについて
 - ウ 主な基金の状況について

- 3 合併後のまちづくり
 - (1) 合併後のまちづくりの成果と今後

質問順位2 こうのす自民 頓所 澄江

- 1 令和4年度施政方針及び予算(案)の大綱について
 - (1) ウィズコロナ・アフターコロナへの今後の取組
 - ア 感染拡大防止と社会経済活動の両立について
 - イ 「鴻巣市デジタル・トランスフォーメーション推進計画」について
 - ウ 農業生産者支援について
 - (2) 「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」の取組について
 - (3) 「鴻巣市ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえた地球温暖化対策について
 - (4) 「鴻巣市中小企業及び小規模企業振興基本条例」について
 - (5) 令和4年度予算(案)について

質問順位 3 公明党 永沼 博昭

- 1 施政方針及び予算（案）大綱について
 - (1) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の加速化と想定される第7波への備え
 - (2) SDGsを原動力とした地方創生の推進及び「SDGs未来都市」提案に向けての取組
 - (3) 脱炭素化促進の取組
 - (4) デジタルトランスフォーメーションの更なる推進
 - (5) 未来を拓く人材を育てる、子育てと教育の連携した施策展開
 - (6) 新たな憩いの場となる大間近隣公園整備
 - (7) 県内初の「包括施設管理業務事業」導入により期待される効果

質問順位 4 チームコスモス 羽鳥 健

- 1 令和4年度施政方針及び予算（案）の大綱
 - (1) 平成14年8月の市長就任以来、5期20年の集大成の最終年度となるが、「行政は最大のサービス業である」との基本姿勢の下の成果とは。
 - (2) 「小・中学校の適正規模及び適正配置事業」において老朽化している中学校プール施設の廃止に伴い、水泳実技を実施しない判断をはじめ、小中学校の統廃合を本市は義務教育とは如何なるものと理解されているのか。
 - (3) 「新ごみ処理施設整備推進事業」においては、平成25年5月以降、5年の歳月とおよそ6億円の経費をかけた事業を断腸の思いで白紙化した経緯があるとのことだが、市長は一般質問答弁において「責任についてはもうないのだということで理解させていただきます。」と発言された事と、矛盾を感じる点について問う。
 - (4) 75歳以上で独居の高齢者について、本市が指定する見守りサービスとはどのようなシステムを想定されるのか。
 - (5) 県内初となる包括施設管理業務委託により如何なる管理に移行するのか。
 - (6) 市道H-223号線の詳細設計を何故予算に計上されたのか。

質問順位 5 かいえんたい 秋谷 修

- 1 令和4年度施政方針及び予算（案）の大綱
 - (1) 道の駅整備事業
 - ア 管理運営候補者の選定についての考え方、スケジュール及び課題はないのか
 - (2) 関係人口創出・拡大に関する今後の施策展開

質問順位 6 日本共産党 諏訪 三津枝

- 1 施政方針及び予算（案）の大綱について
 - (1) 令和4年3月1日現在19校ある小学校を令和10年度までに13校にすることは「未来をひらく人材を育て、確かな学びと文化が根付くまちづくり」に逆行するのではないか
 - (2) 官製ワーキングプアを生み出さないために非正規職員を正規職員にしていくことについて
 - (3) 「地球温暖化対策実行計画」は人類史上最も重要な課題として自治体が取組みなければならないことを踏まえ策定することについて